

平成 21 年度 第 1 1 回 富合町合併特例区協議会 会議録

日 時 平成 22 年 2 月 23 日 (火)
会 場 富合総合支所 3 階会議室

開会時間 午前 9 時 00 分
終了時間 午前 10 時 42 分

○出席委員 (9 名)

会 長	田 中 榮 信
副会長	小 山 一 美
委 員	米 原 靖 雄
	野 口 ミナ子
	村 崎 博 則
	改 原 明 博
	松 永 隆
	内 藤 信 博
	菊 池 博 志

○欠席委員 (なし)

○参考人

熊本市議会議員 くつき 信 哉

平成21年度第11回 富合町合併特例区協議会次第

日 時：平成22年2月23日（火）午前9時00分

場 所：富合総合支所 3階大会議室

1 開 会

2 合併特例区長挨拶

3 議 事

[協 議]

協議第 1 号 平成21年度富合町合併特例区補正予算（第1号）について

協議第 2 号 平成22年度富合町合併特例区一般会計予算について

[報 告]

報告第 1 号 今後の行事予定について

4 その他

○次回合併特例区協議会

・開催日時 平成22年 3 月 日（ ）午前・午後 時 分

5 閉 会

司会

時間になりましたので、合併特例区協議会の開催に先立ちまして、配布資料の確認をしたいと思います。まず、1枚紙で「平成21年度第11回 富合町合併特例区協議会次第」、それと綴じてあります「平成21年度第11回 富合町合併特例区協議会」の冊子。並びに別冊となっております「参考資料」の3点でございます。資料の過不足がございましたら、事務局までお申し出ください。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり。)

それでは、これから会議に入ってまいります。会議の進行につきましては、合併特例区規約第10条第4項並びに同会議運営規則第4条第1項の規定に基づき会長であります田中議長にお願いいたします。

田中 榮信 議長

皆さんおはようございます。これからは私が進行させていただきます。宜しくお願いいたします。

それでは、ただ今から「平成21年度 第11回 富合町合併特例区協議会定例会」を開催いたします。

ここで会議録署名委員を指名したいと思います。会議録署名委員の指名につきましては、協議会運営規則第7条第2項の規定により指名をさせていただきます。本日は「改原委員」と「松永委員」にお願いしたいと思います。宜しくお願いします。

次に、構成員の出席数についてでございますが、本日は構成員の皆様全員ご出席でございますので、協議会規約第10条第3項の定足数を満たしておりますことを、併せてご報告いたします。

それでは早々ではございますが、お手元の次第に沿って会議を進めていきたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

まず最初に、合併特例区長の村崎区長にご挨拶をお願いしたいと思います。

村崎 秀 合併特例区長

おはようございます。皆さん全員ご出席の中に協議会を開催することができました。宜しくお願いいたします。

本日は、補正予算また新年度の予算を提案しておりますので、慎重審議の中にご理解を賜りたいと思っております。

現在、一番の問題として、区割りの問題が熊本市全体の中で議論されております。昨日も行政区画等審議会が開催されまして、パブリックコメントの結果や要望を整理されておりますが、地域によって考え方が異なることは事実であります。私たち富合町としましては、当

初から言っておりました5区案を町を挙げて推進しておりますが、他の候補など色々な議論がありますので、今後審議会の皆さんや議会の皆さんの考え方に注目をしながら進めてまいりたいと思っております。

また、本日提案しております特例区の新年度予算につきましては、前年度より約1億円少なくなっております。これは、新幹線関連事業等が最終段階に入り来年度1年間ということで、水路整備や道路整備が減少したことによるものです。

それと、参考資料にありますように総合支所の予算についても掲載しておりますが、道路整備・排水路整備については、昨年度よりも大きな予算を計上しておりますので、地域の皆さん方からの要望への対応もある程度進むのではないかと考えておりますし、合併して効果は上がりつつあります。私が4年半町長の間は、道路整備又は排水路整備が出来ませんでした。しかしながら熊本市になってそのような予算を付けていただいておりますので、今後は地域の色々な整備等に活用できるものと思っております。

また、榎津区に街灯が設置されました。私も朝暗いうちに歩きますが、大変明るくて富合町内に今年度の内に600基ほど設置する予定ということを知っておりますので、今後皆さん方の地域にも設置されていくものと思っております。

また、上水道についても、平成22年度分として13億3千万円位の予算を計上して頂いており、大変有り難いことでもあります。来年度には、富合町に健軍の水を県道田迎木原線から釈迦堂橋を通過して榎津ポンプ場まで持ってくるように計画されております。そして、それを各地域に配水するような形態を考えておられます。最終的には、緑川の下を通して水を持ってきて、釈迦堂地区に大きなポンプ場を造って木原山まで上げるということが計画されております。そのようなことで、私は熊本市と合併して良かったと感じております。

今後も皆さんと共に小さなことについても熊本市に要望しながら、富合町がより良くなるように、そして合併して良かったと言われるような町を作っていくことが私達の務めだと思っておりますので、今後ともご協力をお願いしたいと思っております。

そのようなことで、本日提案の補正予算及び新年度の予算につきまして、皆さんのご理解を賜りたいと思っております。よろしくお願いたします。

田中 榮信 議長

ありがとうございました。

それでは、これより「次第3 議事」に入りたいと思っております。

協議第1号「平成21年度 富合町合併特例区補正予算・第1号について」につきまして、事務局からの説明をお願いします。

事務局

まず、私の方から全体の概要についてご説明いたしまして、個別につきましては各班長の方からご説明をさせていただきます。

参考資料の1ページをお開き下さい。「平成21年度富合町合併特例区補正予算・歳入の概要」ということで記載しております。

まず「合併特例区交付金」でございますけれども、これにつきましては、構成員の皆様方の報酬の引き下げに伴う減額並びに新幹線総合車両基地に関する事業の減額等が主な要因でございます。補正額3千903万8千円の減額をお願いしているところでございます。

次に、2番目の「使用料及び手数料」でございますけれども、こちらの方が137万4千円の増額補正のお願いでございます。こちらは、雁回館・屋外運動場・雁回公園の使用者の増により増額補正のお願いでございます。

3番目の「財産貸付収入」でございますが、こちらの方は雁回公園や屋外運動場等に電柱や自動販売機がございますけれども、そちらの貸付収入でございます。当初予算では計上しておりませんでした。合併特例区の方で収入を計上するようにとの指示を受けましたので、補正予算として計上させていただいております。それが7万9千円の増額のお願いでございます。

それと4番目が「繰越金」でございます。こちらは、前年度からの繰越金ということで548万7千円を計上させていただきました。こちらにつきましても、市財政課の方と協議を行ってきたわけですが、最終的には3月で返すということになりますので、今回の3月補正で計上してさせていただいております。

また、5番目の「諸収入」でございますが、こちらの方は720万8千円の増額補正のお願いでございます。こちらにつきましては、主な要因としましては、南田尻区の排水路整備工事の施工に伴います九電からの負担金として700万円の歳入がっておりますので、それに伴う補正でございます。

以上のようなことから、合計でマイナス2千489万円の減額補正をお願いするところでございます。補正後の歳入合計は、2億5千594万1千円ということになります。歳入につきましては以上でございます。

次に2ページをお開きください。「平成21年度富合町合併特例区補正予算・歳出の概要」でございます。

まず、1番目の富合町合併特例区運営等経費でございますが、先ほど歳入の方でご説明いたしましたとおり、構成員の皆様方の報酬の減額、あるいは区長の給料の減額に伴いまして、歳出の方も182万1千円の減額補正をお願いするものでございます。

2番目の公の施設の設置及び管理経費でございますが、こちらにつきましても雁回館等の管理・整備経費等で83万2千円の減額補正をお願いするものでございます。

それと4番目でございますけれども、地域振興イベント並びに文化伝統及び伝統の断承につきましても、町内駅伝大会の中止に伴い記録集計用パソコン借上料のマイナス2万円の補正をお願いするものでございます。

それと5番目でございますが、九州新幹線総合車両基地に関する事務事業でございます。

こちらにつきましては、家屋事前・事後被害調査等委託並びに現場管理業務委託等の減額で、合わせて2千53万7千円の減額補正をお願いするものでございます。

最後に、国民健康保険療養給付支払等基金を財源とした保健事業でございますが、こちらでも健康診断の受診見込者数の減によりまして、168万円の減額補正をお願いするものでございます。

以上、歳出の方で合計2千489万円の減額補正をお願いしまして、補正後の予算としましては2億5千594万1千円となります。以上でございます。

それでは、詳細の方を各担当班長の方からご説明いたしますけれども、まず総務班からご説明させていただきます。協議会資料の冊子の7ページをお開きください。総務班からは、歳入全般と総務班の歳出関係の「総務管理費」についてご説明申し上げます。

まず歳入でございますけれども、先ほど申し上げました「合併特例区交付金」の減額補正でございます。こちらの方は先ほども申し上げましたが、構成員の皆さんの報酬額の減額及び区長の給料の減額等で、合わせてマイナス3千903万8千円の減額補正をお願いするものでございます。

「使用料及び手数料」の他、「財産収入」、「繰越金」、「諸収入」につきましては、先ほどご説明したとおりでございます。詳細については、説明欄の方に記載しておりますので宜しくお願いたします。

それでは9ページをお開きください。歳出でございます。

総務班の「一般管理費」でございますが、こちらの方も先ほどご説明いたしましたように、構成員の報酬の減額及び特例区長の給料の減額等でマイナス182万1千円の減額補正をお願いするものでございます。総務班からは以上でございます。

新幹線推進班の吉田でございます。宜しくお願いたします。9ページの歳出の2目「新幹線対策費」でございます。

まず、9節の「旅費」は、当初予算では168万1千円計上しておりましたが、56万1千円を減額いたしまして112万円といたしております。

次に「需用費」が、150万円の当初予算を計上いたしておりましたが、半分の75万円を減額いたしまして75万円とするものでございます。内訳と致しましては、「消耗品費」30万円を15万円に、「食糧費」20万円の全額減でございます。コピーカウンター料100万円の当初予算を40万円減額いたしております。

それから「委託料」でございますが、当初予算では3千216万8千円を計上いたしておりましたが、2千151万円の減額をいたしまして、1千65万8千円にするものでございます。内容としましては、調査設計委託、現場管理の業務委託、家屋被害調査等の委託、駅前広場実施設計委託の減額補正でございます。なお、駅前広場につきましては、今年度に設計を終わるということで進めておりまして、当初500万円の設計予算を見込んでおりまし

たところ、120万円強で落札いたしておりますので、その入札残が出ております。この駅前広場の施工につきましては、平成22年度の出来るだけ早くということで考えております。

それから14節の「使用料及び賃借料」でございますが、15万円の増額でございます。これは、土木工事積算システムの使用料でございます。当初予算では計上しておりませんが、このシステムにより積算した工事の会計検査対象期間が終わるまでは、そのまま維持した方が良いでしょうということで、補正計上してシステムを継続しております。

次に、15節の「工事請負費」でございますが、排水機場の関連工事としまして930万円の減額。それから志々水地区の揚水機場関連工事で1千130万円の減額でございます。またアクセス道路の関連工事、これは古閑跨線橋・田尻跨線橋関連のアクセス道路工事でかなりの増額が出ておりますので、2千234万5千円の増額補正をお願いするものでございます。それから排水路関連工事が1千394万円の減額でございます。合わせて224万2千円の増額補正でございます。

それから、「負担金補助及び交付金」につきましては、当初予算計上額の10万8千円全額の減額補正をお願いするものでございます。以上でございます。

次に保健福祉班からご説明いたします。10ページの老人福祉費でございます。

これは、老人憩の家の敷地内に電柱がございますので、その土地貸付収入として歳入がありましたので、財源補正として3千円を計上し一般財源を3千円減額するものです。

次に、11ページをお願いします。2目「健康の里推進費」ですけれども、補正前の額が695万3千円でしたが168万円を減額補正しております。これは「委託料」の総合健診がマイナス128万1千円と腹部超音波検診がマイナス46万2千円の減額でございます。これにつきましては、総合健診・腹部超音波検診ともに受診者が当初見込みより少なかったためこのように減額しております。以上でございます。

それでは、まちづくり班からご説明いたします。まず7ページの歳入の「使用料及び手数料」でございます。

先程のご説明のとおり137万4千円の増額補正でございます。内訳としましては、雁回館の使用料が120万3千円の増額。それから屋外運動場使用料が16万円の増額。雁回公園の使用料は1万1千円の増額で当初予算とあまり変わっておりませんが、雁回館と屋外運動場については、予約システムの利用増と申しますか旧熊本市域の方の利用が増えておまして、130万円程の増額となっております。予約システムはパソコンで予約が出来ますので、期間は限られておりますが相当な利用があっております。

それから歳出の方でございます。11ページをお願いいたします。6款「土木費」、1項「都市計画費」、1目「公園管理費」でございます。補正額の増減はございませんが、節間での移動をさせて頂いております。と申しますのも、雁回公園内の松の木が、松食い虫に相当やられて、伐採しないと他の民間の方の山にも影響が出るだろうということで、5

0万円程をかけて伐採を行なっております。

それから、雁回公園の水道使用につきまして、これまでは無料で使用しておりましたけれども、上下水道局の方からメーターを設置してくださいということでしたので、松食い虫の伐採と水道のメーター設置工事費の計71万9千円を「公園管理費」の予算の中での補正をお願いするところでございます。

それから、「教育費」ですけれども、先ほどご説明がありました1目の「保健体育総務費」は、町内一周駅伝大会がインフルエンザの発生のため中止いたしましたので、集計用パソコンの借り上げ料の減額補正でございます。

それから、2目の「保健体育施設費」ですが、「報酬」及び「共済費」につきましては、雁回公園及び屋外運動場の管理人を雇用するところで当初予定しておりましたが、合併特例区では雇用出来ないということございましたので、委託契約で対応するというので「委託料」の方に変更いたしておりますので、その分が減額になっております。

それから、「需用費」の光熱水費は使用量が少なかったということでございます。

また、13節の委託料でございますが、先ほどご説明しましたとおり13ページの上から3番目の雁回公園・屋外運動場管理委託ということで、554万9千円の増額になっております。

それから、14節の「使用料及び賃貸料」ですが、雁回館の下水道の使用料と便座洗浄器具のリース代の合計11万4千円の増額をお願いしているところでございます。

それから18節の「備品購入費」ですが、これはAEDを3台、雁回公園と屋外運動場と雁回館に平成22年度予算で計上したいと考えておりましたが、熊本市では平成21年度中に全施設にAEDの設置を終わる予定ということございましたので、今年度予算の中で3台分の補正をお願いするところでございます。

それから、22節の「補償、補填及び賠償金」ですが、中学校の夜間照明の農作物被害補償金が予定よりも若干少なく済んだということで、6万1千円の減額補正でございます。以上でございます。

事務局

説明については、以上でございます。

田中 榮信 議長

ただ今、事務局から説明がありました「協議第1号」につきまして、ご質問ご意見等はございませんか。

野口 ミナ子 委員

11ページの「衛生費」の総合健診と超音波検診の受診者が減ったということで減額になっておりますけれども、その減った理由は何かあるのでしょうか？ 今までは各家庭に通知

が来たりして徹底がなされていたのが、自分で申し込むとかいうのが増えたのではないかと懸念するのですが、どういう理由で減ったのかをお聞きしたいと思います。

事務局

平成20年度から21年度にかけて、総合健診で376人から289人に減っております。また、超音波検診でも608名から346人に減っておりますけれども、これは合併後には問診表を送付しなくなりましたので、そのような結果になったのではないかなと思っております。そこで、来年度には、健診の申し込みの周知文の改善と申し込み用紙の改善を行いたいと考えております。それから健診の申し込みについては、地区マイク放送を通じて各区長さんにもお願いしたいと考えております。

改原 明博 委員

歳出の9ページ「新幹線対策費」の中で、13節の「委託料」の2千151万円が、当初予算からかなりの減額となっているんですが、この差額については入札等で安くなったとおっしゃいましたが、当初予算ではこの金額を上げておかなければならなかったのか？ それとこの結果ですが、家の壁にひびが入った等の話しが何件かあったのかをお尋ねします。

事務局

家屋の被害についてでございますが、平成21年度は出ておりません。平成20年度は、新幹線車両基地の本体工事の方で若干出ております。

それと「委託料」でございますが、噛み砕いてご説明いたしますと、調査設計委託で479万2千円を減額しております。当初予算では600万円を計上しておりましたが、田尻・船底地区の調査設計委託料は20万8千円の増になっております。また排水路整備の調査設計委託料は500万円の減になっております。これは、本年度施工予定分として平成21年度で全て完了する予定でございましたが、来年度に遅らせたといいますか、1つの集落の中にあまりにも多くの本数を発注しますと生活にも支障を来すということで、平成22年度に分けて発注することにいたしましたので、その分の設計委託料が減額になっております。

それから現場管理業務委託ですが、これはご存知かと思いますが、コンサル業者の社員の方を一昨年11月から委託により採用しておりました。これは、跨線橋2本の工事に対して現場管理業務、現場監督的な業務でございますがこれを委託しておりましたが、この工事が早めに完了いたしましたので、その分が減額ということでございます。

それから、先程ご説明いたしました家屋被害調査委託は、平成21年度の工事予定箇所では被害が想定される場所はなかったということです。なお、平成22年度は再度予算計上をさせていただいております。

それから、新駅の駅前広場の実施設計委託でございますが、当初予算では500万円の計上をいたしておりましたが、入札の結果126万円になっております。そういうことで、3

74万円の減額をいたしております。これは、入札差額というよりも駅前広場のみを特例区で設計・施工するということで、県、機構、JR九州、合併特例区の4者協議の中で決定しまして、駅前広場の規模が縮小になったものでございます。以上です。

改原 明博 委員

駅前広場の縮小というのは、当初の計画からどれ位縮小になっていますか？

事務局

当初予算では、500万円を東西両方で計上いたしておりました。駅前広場に通じる道路については、全て道路側で設計・施工するということで合意いたしましたので、駅前広場として使用する分だけの設計に留めたということで126万円になっているものでございます。

改原 明博 委員

駅前広場自体のスペースは、変わらないわけですよね？

事務局

それは一緒です。当初は、広場とそれに通じる道路も含めて検討いたしておりましたが、今回は広場のみに設計を絞ったということでございます。

改原 明博 委員

分かりました。

田中 榮信 議長

他に何かありませんか。

松永 隆 委員

成人式の件ですが、今後のために成人の方達の間でアンケートを取ってもらえないかと要望していた件については、どういう結果でしたか。

事務局

今回成人の皆様方にアンケートをとりまして、全員の回答はございませんでしたが、回答があった中では、大部分の方が例年どおり成人式をやって欲しいという意見でございました。内容については若干の意見はございましたが、今までどおり富合町でやって欲しいというご意見でした。

松永 隆 委員

ありがとうございました。私達も地域振興イベントという形の中で、5年間の特例区期間が終わったら、その辺も含めて考えていかなければならないということ。そして、合併した中であっても成人式を迎える人達は、富合町だけで成人式をやりたいという人が多く、そういう意識、1小1中の特性を活かせるのではということ。

それと、施設の利用者の増で130万円増えたということを室長は自信を持って言われていますけれども、それが富合町にとってプラスなのかマイナスなのか。マイナスとまでは言いませんが、別にプラスとも思いません。何故かと言うと、なかなか体育館を使えないと言う人の声が多いんですよ。ですから130万円増えましたということよりも、特例区の期間だけは富合町の人達を優先できるようなことで考えてもらいたいし、健康な方が増えて総合健診あたりも少なくなってきたというのなら話しも分かりますけれども。

私ももっとその辺のところを聞きたかったところですが、健診に関しては課長が、皆さんに行き渡って受診が多くなるような形を来年度から実施されるということなので、是非そういう形でお願いしたいと思います。やはり以前に比べたら健診を知らない人が多いんです。関心がある方は知ってらっしゃるんですが、無関心の方や忙しいというのは個人的な問題にはなりますけれども、健診が増えるように望みますので宜しくお願いいたします。

事務局

雁回館の利用方法ですけれども、富合町の方々に利用される方は、2カ月前から予約においてになります。また、富合町域以外の方は、その後に1カ月前から予約システムで状況を見て入力されることになります。富合町の方で体育館を利用される場合、利用出来なかったという意見は私の所には入ってきておりません。合併する前は、半分近く空いていたコートが空かなくなったということで私は理解しております。富合の方で今日使いたいということで来られて、空いていなかったということはあるかとは思いますが、定期的に利用される方が使えなかったということはまずないと理解しております。結構一杯になりますので、利用する方でやりにくいということはあるかと思えますけれども、空きコートがなくなってきたということで理解しております。

松永 隆 委員

室長は、その様に理解してらっしゃるわけですね。

もう一つは、パソコンでの予約は、市内の方は慣れてらっしゃるかもしれませんが、年配の方たちがパソコンを使うということは難しいんですよ。そこも考えなければなりませんんですよ。来られた方に一人ずつ教えてらっしゃいますか？

事務局

予約システムは登録しないといけないものですから、登録をされる方にはお教えしますけ

れども、富合の方は殆ど登録されておりません。

松永 隆 委員

そこが難しくて分られないんですよ。だから、利用できる方法を考えて下さいと言っていただけなんです。話せば長くなりますので、また今度個別にお話します。

田中 榮信 議長

他にありませんか。

それでは、他に質疑が無いようですので、原案のとおり同意ということで宜しいでしょうか。

(「はい」の声あり。)

田中 榮信 議長

それでは、「協議第1号」につきましては、原案のとおり同意いたしました。

続きまして、協議第2号「平成22年度富合町合併特例区一般会計予算について」につきまして、事務局からの説明をお願いいたします。

事務局

それでは、参考資料の3ページをお開きください。「平成22年度 富合町合併特例区一般会計予算・歳入の概要」でございます。

まず、「合併特例区交付金」ですけれども、平成21年度当初予算2億7千850万円に対しまして、1億1千204万5千円減の1億6千645万5千円の当初予算を計上しているところでございます。この減額につきましては、先程からご説明申し上げておりますとおり構成員の皆様の報酬や区長給料の減額及び新幹線関連工事の減額等が大きな要因でございます。

また、2番目の「使用料及び手数料」につきましては、前年同額の203万円を当初予算として計上しております。

3番目の「財産貸付収入」でございますけれども、こちらも補正予算の方でご説明しましたとおり、雁回公園等への自動販売機及び電柱等の設置に伴う貸付収入を当初予算として改めて計上させて頂いております。

また、「諸収入」につきましては、前年度と同額の30万1千円で計上いたしております。合計といたしましては、前年度比較1億1千196万6千円減の1億6千886万5千円の当初予算を計上させて頂いております。

次に、4ページでございます。「平成22年度 富合町合併特例区一般会計予算・歳出の概要」でございます。

まず1番目の富合町合併特例区運営等経費でございますが、こちらの方も先程ご説明いたしましたとおり区長及び構成員の皆様のご給料及び報酬額の減額により、前年度比762万7千円減の当初予算3千399万円を計上させて頂いております。

また、公の施設の設置及び管理経費でございますが、こちらは指定管理委託料が44万3千円の増、並びに水道使用料の増額等で前年度比35万7千円増額の3千27万9千円の当初予算を計上させて頂いております。

3番目のコミュニティ関連施策経費につきましては、昨年度同様162万円の計上でございます。

4番目の地域振興イベント並びに文化伝統及び伝統の継承につきましては、前年度とほぼ同額の485万5千円を計上させて頂いております。

5番目の九州新幹線総合車両基地に関する事務事業でございますが、こちらの方は新幹線関連事業の最終年度にあたるということで、前年度より1億458万8千円減の9千194万9千円を当初予算として計上させて頂いております。

最後に、国民健康保険療養給付支払等基金を財源とした保健事業ですけれども、こちらは「需用費」として11万9千円の減でございますけれども、合計としましては前年度とほぼ同額の617万2千円の予算を計上させて頂いております。

平成22年度の合計と致しましては、平成21年度当初予算額より1億1千196万6千円少ない、1億6千886万5千円を計上させて頂いております。以上でございます。

詳細につきましては、冊子の20ページ・21ページに平成22年度歳入の詳細を説明させて頂いております。「合併特例区交付金」「使用料及び手数料」「財産収入」「諸収入」につきましては、先程ご説明したとおりでございます。

続きまして、総務班でございますけれども22ページをお願いいたします。「総務管理費」の中の「一般管理費」として、平成21年度当初予算に比しまして762万7千円少ない3千399万円の予算を計上いたしております。内訳といたしましては、先程からご説明申し上げております構成員の皆様のご報酬及び区長のご給料減額に伴うものでございます。

また、協議会だよりにつきましては、若干ではございますけれども「印刷製本費」を増額させて頂いておりますので、数カ月分は協議会だよりのページ数を増やすことができるのではないかと考えております。総務班としては以上でございます。

新幹線推進班でございます。同じく22ページをご覧ください。「新幹線対策費」としまして9千194万9千円の予算を計上させて頂いております。

内訳と致しましては、「旅費」で59万9千円の増でございます。

それから、「需用費」の消耗品費15万円、印刷製本費5万円でございます。

それから、「委託料」100万円を計上させて頂いております。これは、先程ご説明申し上げました、家屋事前・事後・被害調査等の家屋2戸分の予算でございます。

それから、「使用料及び賃借料」が15万円でございます。これは、土木工事積算システム

使用料でございます。

それから、「工事請負費」でございますが、8千996万4千円を計上させて頂いております。これは、排水路整備工事を5本計画いたしております、その予算といたしまして6千700万円。それからJR富合新駅駅前広場工事費として、2千296万4千円を計上させて頂いております。

それから、「負担金補助及び交付金」でございますが、協議会負担金として3万6千円の予算を計上いたしております。以上でございます。

次に、保健福祉班からご説明します。23ページをお願いします。「老人福祉費」ですけれども本年度が1千59万2千円、前年度が1千14万9千円で44万3千円の増でございます。この内訳としましては、人件費が18万1千円、電気水道代が25万4千円の増。それから通信運搬費が8千円の増で、合わせて44万3千円の増でございます。これは、老人憩の家指定管理委託料として支出いたします。

次に、24ページをお願いします。「健康の里推進費」です。本年度686万5千円、前年度が695万3千円で8万8千円の減でございます。この内訳としましては、消耗品費が8万3千円、通信費がマイナス3万6千円、総合健診がマイナス5千円、超音波検診が3万6千円の増で、8万8千円の減になっております。

次に、「報償費」が38万円。これは講師等の謝礼が24万6千円、各種大会記念品代として13万4千円。

「需用費」で9万2千円。これは印刷製本費です。

次に、「役務費」が22万1千円。これは、健康の里フェスティバル時の配布用弁当作成手数料として1千300食を予定しております。

「委託料」は、617万2千円。内訳としましては、総合健診が478万6千円、腹部超音波検診が117万6千円、体成分分析・脳活性度測定・骨密度測定委託料が21万円。以上でございます。

続きまして、「農林水産業費」の「水田農業推進対策費」ということで、前年度同額の30万円を計上いたしております。これは産業祭負担金でございます。産業祭につきましては、例年どおり11月23日を予定しております。予算としましては、特例区と宇城農協からの負担金で、昨年は宇城農協から24万5千円の負担金を頂いております。

それから、次の「商工振興費」です。本年度249万6千円で前年度と同額でございますが、こちらは、ふるさと祭事業補助金でございます。来年度のふるさと祭についてですが、例年は8月の第1土曜日に行っておりましたが、来年度は火の国祭りが8月の第1土曜日に開催予定であるということで、先日ふるさと祭実行委員会事務局の方で検討しました結果、7月の31日にふるさと祭を開催した方が、火の国祭りとかち合わないで良いだろうということで、今年は7月31日に開催を予定しております。それから場所につきましては、昨年

はアスパル富合の裏で行ったわけですがけれども、例年どおり緑川河川敷での開催を考えております。以上でございます。

それでは、まちづくり班からご説明いたします。25ページをお願いいたします。「土木費」の「都市計画費」の「公園管理費」でございます。本年度予算が、261万4千円で前年度に対しまして16万円の増でございますが、先程補正予算でご説明しましたとおり、水道メーターを取り付けまして水道使用料が発生いたしますので、その分が増えてくるということでございます。

それから、26ページの「社会教育総務費」は前年度と同額でございます。

それから、2目の「公民館費」は2万円の減でございますが、これは高齢者学級の講座の回数関係で、講師謝礼が2万円減っております。

それから、「保健体育総務費」でございますが、これは前年度と全く同額でございます。

それから27ページですが、「保健体育施設費」は、本年度1千691万円で、前年度に対しまして24万6千円の減でございますが、減額の主な理由としましては、雁回公園・屋外運動場の管理人に係る経費として前年度当初予算の中で「共済費」を計上しておりましたが、本年度は「委託料」ということで、その分が減になりました。

それから、14節の「使用料及び賃借料」の中で、駐車場賃借料39万4千円を計上しております。これは、中学校横の屋外運動場の駐車場の借地料でございます。これまでは、小学校と中学校の学校経費として駐車場を借りてありましたが、平成21年度で契約が切れるということで、市の施設課の方から契約はできないということでしたが、中学校横の屋外運動場につきましては、社会体育施設として合併特例区が管理しておりますので、こちらの方で何とか予算化をお願いできましたが、小学校の駐車場に関しましては、なかなか予算が付かないということで聞いております。中学校横は予算化できたのですが、小学校の駐車場については今後課題が残ったということでございます。以上でございます。

田中 榮信 議長

ただ今事務局から説明がありました「協議第2号」につきまして、ご質問ご意見はございませんか。

松永 隆 委員

これはもう決定事項ですよ？

事務局

大変申し訳ないんですけれども、内容の組み替えは出来るかとは思いますが、総額につきましては熊本市の方と協議をしております。

松永 隆 委員

はい分かりました。約1億1千万円ほど減額になっているわけですが、先程言われた新幹線関連と協議会構成員と区長の給与等で約800万円減になるということで、決定事項なので要望なんですけれども、もっと800万円の使い道というのが他に何か出来なかったのかなという思いがあるんですよ。例えば、地域振興部会では、最初で最後ですので、できれば新幹線が出来上がって昨年やったような形で、平成22年度も富合町の町民の皆さんに線路を歩いてもらうというイベントを考えておりますので、そういった予算も少し考えて組んでいただければ良かったのかなと思っております。

それともう一つは、広報部会の方では、協議会だよりも一生懸命頑張っておられますので、これを100万円にしろとは言いませんけれども、例えば8万円の12ヵ月には出来なかったのかなとか。市政だよりも協議会だよりもの方が富合町だけの内容が掲載されているので、皆さんが興味を持ってらっしゃると思うんですよ。

そこで、1億円は別として、この800万円の中で、多少なりともそういった変更というか申し入れが出来ないかなど。要するに、補正みたいな形で出来ればと思っておりますので宜しく願いいたします。

事務局

分かりました。なるべく、予算の範囲でやり繰りいたしまして、ご希望に添えるようにして行きたいと思っておりますので、宜しく願いいたします。

野口 ミナ子 委員

代弁して頂きましたけれども、広報紙としては、もうちょっとという所は何回も感じておりますが、これは5年後、自治会の広報紙として移行して行って欲しいなという気持ちがありますので、予算を高く付けてくれということではなくて、どういう風に工夫をしていくかを私達は今から考えていかなければならないんじゃないかなと思います。もし予算が付くというのであれば、先日も広報部会・部会長会議でも話したんですけれども、住民の方たちが今どのようなことに合併して困っていることがあるのかとか、こういうことが知りたいということがあるのかとか、そういう調査をしたいなという話しをしました。そういうことに予算が組まれていけば良いなと考えております。以上です。

改原 明博 委員

23ページの「民生費」「社会福祉費」「老人福祉費」ですが、老人憩の家指定管理委託の約1千万円ですが、随契とか入札とかありますけれども、今日現在どこがやってらっしゃるのか。そして、入札なのか、随意契約なのか。また、契約は何年間なのかをお尋ねします。

事務局

現在、指定管理委託は、市の社協の方をお願いしております。毎年、社協の方と契約を締結しております。今のところ毎年契約ですが、熊本市の方では、指定管理委託については複数年で契約してあるそうです。ですので、特例区の方でも複数年での契約が出来るように変えることができないものかと考えております。

改原 明博 委員

特例区になる前から社協をお願いされていたと思いますけれども、社協に随意契約みたいな感じですよね？

事務局

合併特例区と社協の方で指定管理をするという事でやって、それから社協からの実績報告と指定管理制度に関する指針に基づいて、特例区で積算した数字が1千59万2千円という金額になっております。

改原 明博 委員

毎年という話しですけども、見直しとういうか、3年なら3年の契約になるような形を考えていらっしゃるわけですよね。一応、社協の方も頑張ってもらっているので非常に良いことだと思います。ありがとうございました。

米原 靖雄 委員

22ページの「新幹線対策費」の15節「工事請負費」ですが、清藤地区の排水路工事ということで、平成21年度は随分進行しております。平成22年度で関連の整備事業は終わるということですか？

事務局

産業振興班の方からお答えします。排水路工事については、来年度6千700万円の予算を計上しておりますが、新幹線関連の排水路整備は、平成22年度で完了するという事です。

また、地元から要望が上がっている水路整備の全てを平成22年度でやってしまうということは出来ませんので、後は市の単独予算で残りを進めていくという形になります。それから本数を5本と説明しておりますが、これはあくまで目安であって、工事の区切りの良いところで切ったりしますので、本数的には増えることもあります。予算については6千700万円です。以上です。

米原 靖雄 委員

はい分かりました。他の地域では新幹線関連の工事は済んでおりますが、清藤地区は平成21年度から始まって平成22年度までということで、やはり地域の方が心配されておりますし、新幹線の工事には地域としても協力しておりますので、宜しくお願いしておきます。

また、その他の清藤地区の要望事項は、その後単独事業で進めていくという考え方ですね。

事務局

はい。

米原 靖雄 委員

それともう一点ですが、排水路整備工事と一緒にJ R 富合新駅駅前広場工事で2千200万円計上されておりますが、この工事もどのような工事なのか説明をお願いしたいと思いません。

事務局

志々水アンダー道路のすぐ北に位置する所に、清藤側・志々水側の両方から乗れるような駅を計画しています。駅前広場と言いましても、一般的な送迎の車が一時的に駐車できるスペースと自転車等の駐輪場を考えておまして、駅自体は無人駅でございます。両方を合わせまして、2千296万4千円ということです。駅については、J R九州の方が国交省に認可を申請中でございますし、特例区の方も駅前広場の設計を発注してまだ完成まで至っておりません。今、コンサルと打ち合わせしながら設計を進めております。その後、平成22年度で施工に入りたいということでございます。

米原 靖雄 委員

ありがとうございました。博多あたりで新幹線の施設を設置して、車両基地祭りとかを開催されているという所も私たちも研修に行きました。来年が開業ですので、そういうビジョンといたしますか、どういう希望を持っておられるのか区長にお聞きしたいと思います。

村崎 秀 合併特例区長

確かに車両基地祭り等はJ R九州でやっております。

また、支援機構が購入した土地が、3号線沿いにはまだ残っておりますので、J R九州には、地元のためになる施設を作ってくださいと要望はしておりますが、なかなかJ R九州も民間会社でありますので、お金を使うことには躊躇されますが、今後もJ R九州の方にも行ってそういった交渉等もしていきたいと思っておりますので、皆さんもご協力お願いします。

そしてまた、町としてもせつかくこれだけの施設が出来ますので、若い職員の発案による仕掛けなどができないか、今後考えていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いした

いと思います。

米原 靖雄 委員

区長の方から話がありましたが、やはり地域振興策は商工会などの中堅の方々が先を見据えてビジョンを描きながら地域の振興に務めて頂くならばという考えでおります。

それから、富合町は住み良い地域でもありますので、賃貸住宅の開発が進んでおります。私も議員の時から区画整理ということで、区長・当時の町長にも要望をいたしております。やはり区画整理というのは、不景気で保留地の価格の下落などでなかなか難しいとは思いますが、先行投資あたりもしていただけたらどうかという思いがありますので、その点も考慮していただければと思います。

村崎 秀 合併特例区長

区画整理についても合併協議の中で協議されておりますが、他の町では、出来上がったけれども売れずに赤字になっているなどかなり苦勞をされておりますので、そういうことも含めて、この地域もどのようにしていくのか今後の課題として考えていきたいと思っております。

米原 靖雄 委員

新市基本計画の中に謳っておりますので、地域振興策として富合でも確定的な取り組みをして頂きたいと思っております。以上です。

野口 ミナ子 委員

新駅の駅前広場の計画に関しては、私たちの中にも意見があつたりするかもしれませんが、そういう中でも聞いていただきたいと思っております。

田中 榮信 議長

他にございませんか。

菊池 博志 委員

小学校の南側駐車場の件でお願いをしたいと思っております。今年の3月31日で南側駐車場の契約が切れます。このことに関してPTAの方から、このまま継続して頂きたいという要望がかなり寄せられておまして、昨日くつき議員と一緒に熊本市の教育委員会に行つてまいりました。お話しをさせて頂いた中で、駐車場は10年契約で合併協議の中でも終わるという形で契約が出来ているということで、絶対に教育委員会としては認められないというお話しをされました。それでは、どうだったら認めて頂けるのかということをお聞きしましたら、それは何ともお答え出来ませんが、合併特例区の中で借りていただければ特

例区期間の間は成立するのではないかと私は判断いたしましたので、熊本市の特別顧問でもあります村崎区長にお力を頂いて、是非南側の駐車場を特例区の期間だけでも継続して借りて頂きたいと。そして、その期間に代替案として、例えばグラウンド内に20台位の駐車場を設けるとか、今、そのへんを教育委員会と話し合っておりますので、南側の駐車場に関して一番広く持っていらっしゃる地権者の方は、畑に戻して返すという形になっているらしいんですけれども、それを含めて地権者の方はまだ貸しても構わないというご意見ですので、是非特例区の期間だけでも南側の駐車場を存続させて頂きたいと思っておりますので、宜しくお願いしたいと思います。

村崎 秀 合併特例区長

この件については、私も大変苦慮しております。施設課長とも話しをしておりますが、なかなかガードが固いです。契約を解除すれば現状復帰しなければならないという契約になっておりますので、現状復帰をするだけで1千万円程かかるそうで、借りることについては中々「はい」とは言ってもらえません。場合によっては市長にお願いしていただかなければならないと思います。地権者の方は貸していいとおっしゃっているので、この件については、良ければPTAあたりも要望書を作っていただいて、私も市長に直接話をしていきたいと思っております。

菊池 博志 委員

はいありがとうございます。ただ、その辺も含めて話をしたんですけれども、富合だけ例外は認められないと。富合に似た校区の天明・飽田あたりは同じように駐車場がない中で皆さんやってらっしゃるので、例えば富合だけ南側の駐車場を特別扱いするわけにはいかないという話しなんです。ただ、一つ可能性があるとするれば、もしそれが市の土地であれば良いということでしたので、それも含めて市に買い取って貰ったりとか、その辺の要望等を聞いていただけたら現状のまま使えるというところだろうと思います。

村崎 秀 合併特例区長

出来るだけ交渉してみたいと思います。

田中 榮信 議長

他に何かありませんか。

野口 ミナ子 委員

27ページの13節の「委託料」ですけれども、雁回公園・屋外運動場管理人委託となっておりますけれども、委託の内容を詳しくお聞きしたいと思います。住民の方たちからも、そういう質問が出ておりますのでよろしくお願ひします。

事務局

業務内容としましては、雁回公園も屋外運動場も施設管理です。例えば、草取りやグラウンド整備、それから当日の利用者の受付等になっております。これは、熊本市の他の社会体育施設の管理人と同じ業務になっております。補正予算でもご説明しましたとおり雇用が出来ませんでしたので、市の社会体育課に特別にお願いをして、本来熊本市は個人との委託は出来ないことになっておりますが、合併特例区ということで個人委託をお願いしているところでございます。

野口 ミナ子 委員

例えば、草が生えていてもそのままというような話もありますので。

事務局

私共としては、草取り・グラウンド整備を指導しているところではございますが、そういう話も若干耳にはしておりますので、今、雁回公園に2人屋外運動場に2人の合計4人をお願いしておりますが、村崎区長ともお話ししまして、4月からは配置転換をしようかなと考えているところでございます。

松永 隆 委員

管理人さんで差があり過ぎるとおっしゃる訳ですよ。富合中学校の方は、やり過ぎじゃないかというくらいやってらっしゃいます。

事務局

私も区長と話しをして、4月に配置転換をしようかなと話しをしております。申し訳ございません。

改原 明博 委員

今の件と類似しますけれども、全般的に行政は税金で成り立って支払っているの、何か評価するというシステムがないと、今のように金額に見合った仕事をしているのかどうかという話がどんどん出てくると思うんですけど。今話がでましたので、良いチャンスだと思いますので、誰からも関心の目が向けられているし、もう少し頑張らせてもらえないだろうかと思ってもらえるような評価制度が大いに必要ではないかと思えます。以上です。

米原 靖雄 委員

今、雁回公園の話がでましたけれども、これはこの前のトークの会の会合の時に話しをお聞きしましたけれども、雁回公園の駐車場に街灯が無いということで、公園は皆が集まる場

所でもあるし防犯対策も必要ではないかという話しを聞きました。また、公園の中の方にも照明が無いので、例えば、暗くなれば管理人さんが最後に廻って後は消して帰るということで、是非明かりを欲しいということがありました。配線というのは大変だからソーラーという形で設置して頂けるならばという話しがありましたので、お知らせしておきます。

事務局

雁回公園は、元々ナイター施設がついておりませんので、昼間の明るい時間しか使わないようになっております。当然、グラウンドの方も陽のある時間しか貸しておりませんので、それ以外では使わないことになっております。確かに明かりがあれば夜遊びに行った人のためには良いかもしれませんが、犯罪とかを考えると防犯灯があったほうが良いとは思いますが、基本的な考え方としては、夜は使わない公園ということになっていきますので、今以上の設備については考えておりませんでした。

米原 靖雄 委員

明るいうちに使用するということでしたが、明るいうちに使用して、後片付けとかで少し暗くなった時のための時間帯の余裕があってもいいんではないかと思うわけです。後の整理とかをするのに暗くて出来なくなりますから、暗くなってから1～2時間程度の余裕が出来ないかなという話がありましたので要望しておきます。

田中 榮信 議長

他に、平成22年度富合町合併特例区一般会計予算についてございませんか。

(「ありません」の声あり。)

田中 榮信 議長

他に質疑が無いようでございますので、原案のとおり同意ということで宜しいでしょうか。

(「はい」の声あり。)

田中 榮信 議長

それでは、「協議第2号」につきましては、原案のとおり同意いたしました。

これより報告事項に入ります。報告第1号「今後の行事予定について」につきまして、事務局から説明をお願いします。

事務局

それでは、今後の行事予定の前に参考資料の5ページをご覧ください。こちらの方

に平成22年度の富合総合支所の当初予算計上一覧の内容を載せております。簡単にご説明いたしますが、合併に伴います旧富合町の電算システムが不要になりましたこと、あるいは宇城広域連合の負担金の所管を本庁の政令指定都市推進室の方に移した関係で、新幹線関連を含む「総務費」で、7億8千600万円ほどのマイナスになっております。しかしながら、その下の「農林水産費」・「土木費」を見ていただきますと分かりますように、「農林水産業費」では3千500万円程、「土木費」では5千800万円程の増額が予定されておりますので、実質的には総合支所の事業費としては増額になっているところでございます。以上でございます。

それともう一点でございますが、先日からお願いしておりました田迎木原線の路線バスについてですけれども、先日熊本バスの方から利用者が少ないため4月以降の路線の確保は難しいということで協議を行いました。これは城南町の方も同じでございます、4月以降も2路線ということはありませんとのことで話し合いの場を持ちまして、城南と富合で1路線にして欲しいということでございました。現在はまだ協議の途中ではございますが、一応の案として、城南町と富合支所の方で考えておりますのは、「サンサンうきっ子」から「城南町のバスセンター」に入る路線をルートとして考えているところでございます。こちらの方は、4月1日からの路線の変更に伴いまして採用されるかもしれないという状況でございます。但し、時刻表につきましては、現在富合町の路線の朝の便の利用が多いということで、朝の便につきましては、富合ルートの時刻を基本とするということで合意しているところでございます。なお、土・日の利用が非常に少ないということで、これは廃止せざるを得ないと熊本バスでは考えていらっしゃる。当方としてはそれでは困ると協議をしていたところでございますが、土・日はどうしても対応できないということでしたので、平日の6本では少ないので、朝1本と夜1本を増やして、平日を8本に増やして頂きたいということで話しを進めております。決定いたしましたら協議会だよりなどで広く周知したいと思いますので、皆様にご報告いたします。

それと、さくらカードにつきましては、嘉島町で一旦精算しなければならないようになっておりましたが、前回の協議でそれは無くそうということで協議を行いまして、4月からは途中で精算をしなくて最後にさくらカードで支払って良いということになりましたので、非常に利便性が増すものと思っております。路線バスについては以上でございます。

最後に、今後の行事予定についてですが、資料の最終ページに2月23日から3月26日までということで載せております。

市議会の方が、3月2日に開会され26日閉会ということになっておりますので、後ほどご相談したいと思いますけれども、次回協議会の開催日の方と重複いたしますのでそちらの方のご相談も宜しくお願いいたします。また、所得税・市県民税の申告相談も3月1日から行われますので、皆様のご協力をお願いいたします。以上でございます。

田中 榮信 議長

ただいま事務局からご説明がありました、「報告第1号」につきまして、何かご質問などございませんか。

(「ありません」の声あり。)

田中 榮信 議長

他にご質疑がなければ次へ進みたいと思います。

次に「次第4 その他」に入ります。まず最初に、次回の協議会の開催日について確認をしたいと思いますが、何か事務局からございませんか。

事務局

先程も申し上げましたが、協議会は原則第2水曜日に開催することになっておりますが、3月の第2水曜日が熊本市議会定例会と重なっておりますことから、できますならば市議会の終了後の3月29日・月曜日に開催をお願いしたいと考えております。宜しく願いいたします。

田中 榮信 議長

ただ今事務局から、市議会終了後の3月29日・月曜日という提案でございますけれども、29日の月曜日、午前10時に開会したいと思いますけれども、皆さんいかがでしょうか。

(「はい」の声あり。)

田中 榮信 議長

それでは、次回の協議会は、3月29日・月曜日。開会時間が午前10時ということでお願いしたいと思います。宜しくお願いします。

それでは最後になりますが、その他として皆さんから何か意見等はございませんか。

菊池 博志 委員

その他としまして、今皆様方のお手元にお配りしております「スペシャルオリンピックのボランティアのお願い」ということで、3月13日・14日に開催されますが、14日だけでも構いませんので、ぜひ協議会の皆様も出来る限り参加して頂ければ本当に助かりますので、宜しくお願いしたいと思います。また、私が代表ではないんですけれども、よければ職員の皆様にもご協力をお願いしたいと思いますので、宜しくお願いいたします。

野口 ミナ子 委員

協議会だより3月号についてですが、囑託員さんによる次回配布日が26日で間に合いませんので、その次の3月の11日に発行いたします。また、3月の協議会も29日ということですので、4月号は4月中頃の囑託員さんの配布日に合わせますので宜しくお願いします。

田中 榮信 議長

他に何かございませんか。特になければ議事を終了したいと思いますけれども、いかがでしょうか。

(「ありません」の声あり。)

田中 榮信 議長

それでは、本日の全ての議事が終了いたしました。皆さんには長時間にわたりご審議いただきまして、大変ありがとうございました。

これをもちまして「平成21年度第11回 富合町合併特例区協議会定例会」を閉会いたします。

以上のとおり会議の次第を記録し、これを証するため署名する。

平成22年 3月29日

署名委員

沼原明博

署名委員

松永隆